

# 大阪盛り上げ隊 第2回ミーティング 議事録

2015年9月14日(月) 19時～21時

大阪市西成区区民センター 1F会議室

進行：西村 書記：有迫(敬称略)

(以下、敬称略)

## 1. 参加者一覧

石野(大阪盛り上げ隊 隊長)・佐原(大阪盛り上げ隊 副長)・西村(大阪盛り上げ隊 副長)・山本(大阪盛り上げ隊)・有迫(大阪盛り上げ隊)・前橋(大阪盛り上げ隊 アドバイザー)・藤江(プロレスリング紫焔)・林(NPO 法人ますくまんず 代表)・間柴(はびねすドッグ代表)・松本(西成区民センター)・馬場(西成区民センター館長 \*冒頭あいさつのみ)

上記11名が参加した。

## 2. 開会

大阪盛り上げ隊イベント実行委員会開催に先立ち、大阪市立西成区民センター館長・馬場氏よりご挨拶を頂いた。

「お忙しいところ集まって頂き、また実行委員会も重ねて開催されておりありがとうございます。

今イベントは3月の春休みという期間で人が集まりやすい時期ということで、広報誌や冊子等でもご紹介させていただきましますし、協力できることはさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。」  
挨拶後馬場氏は業務の為、退席された。

## 3. 第1回ミーティング以降の大阪盛り上げ隊内での打ち合わせ結果の報告

大阪盛り上げ隊 副長・西村がディスカッションに先立ち、配布物と第1回実行委員会ミーティング以降に行われた大阪盛り上げ隊定例会(以下、定例会)で決定した内容についての説明を行った。

「手元にある資料をご確認ください。①第2回イベント概要発表&企画・実行委員会ミーティングと書かれた冊子 と ②丸いイラストが表紙の冊子 の2冊があると思います。ご確認ください。

前回の実行委員会ミーティング以降、何度か定例会で打ち合わせをさせて頂き、最初にそれらの結果報告をさせて頂きたいと思ひます。

今回の実行委員会ミーティングまでの定例会での流れですが、前回の実行委員会ミーティングでも出ました「みんなで面白いことをしよう」というテーマに基づいた定例会での内容を②丸いイラストが表紙の冊子に纏めさせて頂きました。一つ一つの面白い事を出していくと、全員が視野の違う多くの意見が出ました。これらを纏め、サイクル化する事によって”面白い事”を作り出すという結論になりました。

また、このミーティング直前に行った定例会(9月7日)の際、自分自身が出来る事をこのサイクルの中に当てはめ記載させて頂き、今回の実行委員会ミーティングで出た意見もこの中に入れさせて頂きたいと思ひます。次に、意識分布グラフを作成し、ここから出来る事、やりたい事に対する意識のうち、強みや意見の分野の内容が少なくなっていることが分かりました。これらの結果を分析した結果も冊子内に纏めさせて頂きました。全部で5つの課題があり、これらを組織全体的に問題点や出来る事を共有し、クリアしなければ個人間での不信や、一人一人が負担する内容が増える危険性があると考えられます。

【↓次ページに続く↓】

# 大阪盛り上げ隊 第2回ミーティング 議事録

その為、個人的な考えですが課題達成の為の方策をグラフページ以降に纏めさせて頂きました。

ステップ2の役割に関しては別紙（第2回ミーティング資料）を参照して下さい。

最終決定権は隊長である石野、フリーで各役割のサポートを佐原、企画は西村が行い、会場設営は神藤・有迫、広報渉外が有迫、会計は神藤がリーダーとして行うことになりました。

ステップ3では、この役割の連携が非常に大事なので必要な内容を纏めました。また、場の活用として交流会やお互いの仕事を見学してみる事で、お互いのやりたい事を見つけることができると思います。しかし、本来は現時点でもある程度この内容に関しては出来ていないととイケないことですが、今後はこれを強固にしていきたいと思います。

このステップ1～3の課題達成を前提に今後の行動計画として、次頁に記載しておりますが、ステップ4のテーマの決定、ステップ5の短期目標やイベントの内容等を決定していきたいと思います。

何度も申し上げる内容となりますが、このイベント自体は西成だけで終わらせるのではなく、今回のイベントを大阪盛り上げ隊としてのプロローグやキックオフとしてコンテンツを固めて次回以降、しっかりと他会場でもイベントを行っていくのが目標なのでこれを達成するために行動していきたくと考えています。出来る限り開催ギリギリまでも新しいアイデアや面白い事をイベントに放り込み、皆が楽しめるイベントを作っていきたいと思っており、全員で共有し、成功させるという方向性になった事を報告させて頂きました。」

## 4. ディスカッション

大阪盛り上げ隊・隊長 石野より今ディスカッションの趣旨について説明が行われた。

「せっかくなので、ここでやることを実験的にを行い、プロレスやバルーンアート以外のことを一旦白紙にし、まずは何がやりたいかを固めていき、今回の会議でいろいろ意見を入れて内容を纏めていければと思う。」

次に西村が今ディスカッションの司会進行となり、ディスカッションが開始された。

「皆の面白いことが全然違うので、これを一緒に考えてイベントとしてやっていきたい。いろんな意見を、ざっくばらんに酒を飲みながら、笑いながら意見を出していける様な雰囲気の良い楽な気持ちで意見を出して行ってほしい。今日決めないとイケないのは、参加された皆様がやりたい事やアイデアを出して共有し、イベントのコンテンツを決定したい。」

配布したメモに自分のやりたいことを15分程度で書き出して頂き、ホワイトボードに張り付けてこれらをディスカッションしていきたい。

コンテンツに関しては、ステップ5の①～④の内容で考えてもらえるとありがたい。」

---

15分が経過し、参加者から出たコンテンツ内容のメモをホワイトボードに掲載した。

西村「時間になりましたが、まだ意見が出たり、もうちょっと時間がほしい方がいらっしゃいますでしょうか？また、他の方のメモを見て、意見を頂いてもよろしいでしょうか。

気になったのを質問しますので、聞かれたかたは答えて下さい。」

【↓次ページ、コンテンツに対しての質疑応答。メモに関しては各種ボード写真を参照！】

# 大阪盛り上げ隊 第2回ミーティング 議事録

Q. 大阪のおばちゃん警察劇団とは？

A. 地元のおばちゃんたちが地元の警備のための演劇をやっている団体がある、演目も2つほどあり、防犯の内容なので面白いと思う。また、「警察」と「市民団体」の2団体が大阪内にて活動している。

Q. アイフォンなどを使った催しとは？

A. これは誘致しないといけないが、アプリを使った開発会社が多くあるので、これらを使ったコンテンツを持った連中を呼べないかとも思う。

この内容の別意見として、「充電カフェなんかはどうだろうか？携帯の充電をしながら、そこで交流できるスペースを設置するとどうだろう。来た人としゃべるってコミュニケーションを取るというのも面白いと思う。」「携帯アプリで、会場内にあるQRコードや紋章を使って、宝探的な何か、「ウォーリーを探せ」のような特技を持った人を探して、最終的にその人に次のステージのヒントを聞くことでイベントクリア、といったリアルRPGのようなのも面白い」という意見も出た。

Q. マスクづくりのワークショップとは？

A. 知り合いでマスクを作る人がいて、参加してくれるかもしれない。せっかく来てくれるのだから、こういうワークショップ的なことをしてもらおうと面白いと思う。

Q. プチ縁日とは？

A. 例えば、コイン落としや風船釣り等の、夏祭りのイベント。時期性関係なしに意外と子供が集まりやすい。

この内容の別意見として、

「門真でやっていることだが、たばこのフィルターを集めて、イベント会場に持ってくることで環境啓発に力を入れている企業様から提供された商品を渡すというのをやっている。こういうのを使って、参加できるなどにするのも面白いかも」という話が出た。

これに対し「子供をもっている親的にはどういう意見が出たか？やはり、落ちていたり汚いものだし、大丈夫なのだろうか？」と質問が出たが、「意外と子供が集まっていた。JTはそこでアンケートを取ったり、たばこの講習を行っていた。それこそ、子供が町の中で良い事をした、という慈善事業にもなるし、防犯的な事をする事で事前学習としても楽しめるかもしれない。」と回答があった。

Q. 3月開催という、時期性に何か絡ませれないか？

A. 以前、自分が参加しているイベントで防犯ブザーを配った。意外と安いのでもいいかもしれない。

Q. 西成で一番困っていることはなんですか？

A. 西成で一番困っているのは、イメージが悪いと思われている所。これを何とかしたいのが一番。良い所という面では、他の町と同じ位良い面がある。

Q. 落語会とは？

A. 落語で防犯も絡めた内容をやればどうだろうか？昔は阿呆をする人が暮らしやすい内容が多かったが、今は排除されている。こういった人も一緒に暮らせれると言う啓発運動にもなる落語をやる面白と思う

# 大阪盛り上げ隊 第2回ミーティング 議事録

Q. セーフティーマンとは？

A. セーフティーマンは、警察や消防が参加しやすい内容の関係を考えて生まれた。実際に防犯に関する演劇や何をやるかは決まっていない。

この内容の別意見として「例えば、他の場所や地域でもセーフティーマンは使えるのか？使えるのであれば、使えばいいと思うし、他のところでも協力してくれと言えば使えるコンテンツにすればいいと思う。一回限りとか、行政に取り繕うのであればやめればいいと思う。それか、行政に取り繕うならとりあえず1回やってみるのも方法だと思う。どこでやるにしても、パッケージとして作ってしまうのもいいし、プロレスリング紫焰が動いたらメンバーが動けるようにしても良いと思う

また、意見として、大阪盛り上げ隊・副長 佐原より

「これまで出た意見は、ハードの面というかソフトの面が多いと思う。メインコンテンツとしてプロレスと並ぶ程の集客性の高い面白い事がないと思われる。」

山本「例えば、今まで参加されたイベントで、他にこれまで並ぶコンテンツは何がありましたか？」

佐原「アイドルを呼ぶとか、スター性のある人を呼ぶと言うのが特に印象に残っている。」

石野「話は少し変わるが今イベント同日、隣のフィルハーモニーで中学生の演奏会が行われるらしい。これらの動員を引き込める案が必要かとも思う。」

西村「プロレスリング紫焰として集客ができて、他のコンテンツでも集客ができる内容があるのかが現状不明確なのは現実だと思う。そこで、大枠のコンテンツを決めようかとしている段階が今なので意見を出していきたい。」

・・・等の質疑応答・意見が出た。

## 5. まとめ

ディスカッション終了の時間となり、西村より

「話も盛り上がっていますが、ここでまとめに入りたいと思います。ホワイトボードに面白さとやりやすさのベクトルを引きました。これに沿って、やりたいメモ書きを分けてみたいと思います。例えば、面白さとやり易いがトップのものは、実際にイベントのコンテンツとしてやるべき内容で、逆に面白くなくやりたくないものは排除すればいいと思います。分け方としては、決定・チャレンジ・補欠で分けたいと思います。

また、このメモだけに拘らず派生した内容や近い内容にリンクさせてもいいと思います。」

**\* 仕訳した結果に関しては各種ボード写真を参照**

## 6. 閉会挨拶

西村により、閉会の挨拶が行われ、今ミーティングは閉会となった。

閉会后、参加できる方で交流会が行われた。